



今年も「環境大臣表彰」を受けた、東久留米市の省エネ・省資源活動



一昨年に続き、東久留米市市民環境会議の新エネルギープロジェクトチームが、「対策活動実践・普及部門」での表彰を受けました。

全国197件の応募の中から38団体が受賞しましたが、大企業、大都市や広大な(1,600ha)モンゴルの草原の砂漠化防止植林事業の中にあつて、小規模ながらも、他の地域にも模範となるような取り組みとの評価を得たものです。

表彰式は、12月3日虎ノ門のイイノホール&カンファレンスセンターで行われ、座長の石川さんが代表で賞状を手に入れました。



今回の対象となった取り組みは、次の「再生可能エネルギーへの挑戦」三事業です。

- 小規模湧水力発電
- マイ太陽光発電ユニット組み立と普及
- 市内での廃油の回収と再生処理計画

石川さんは、東久留米市のチャレンジを具体的に説明されました。

「市民レベルで、誰でも挑戦できる活動を地道に続けていきたい！」

多くの市民を、巻き込み「湧水」と「環境」を、益々アピールする東久留米でありたいものです。



市民レポーター 球歩

(写真は、参加者の了解済みです)